



京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

でんおん連続講座

音源・映像・実演にふれながら楽譜などの演奏資料を読み進めることで、専門的なテーマに気軽に触れて頂ける市民講座です。皆様のご参加をお待ちしております。

要申込

A

音楽としての
義太夫節

B

能の囃子・音曲の
骨組みを理解する

C

常磐津節実践入門
その3

D

日本の
作曲家を聴く
～今年アニバーサリーを
迎える作曲家を中心に～

E

PENDULUM II
英語による日本音楽概論

講座内容の詳細は裏面に掲載しています。▶

会場



京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター
新研究棟7階 合同研究室1ほか

京都市西京区大枝沓掛町13-6

阪急桂駅から

桂駅東口
京阪京都交通バス1・2・13・14・25・28系統乗車
約20分、「芸大前」下車、徒歩すぐ
桂駅西口
市バス西1・西5・西8に乗車約20分、「新林池公園」
下車、徒歩約20分

JR京都駅から

【C2のりば】
京阪京都交通バス2・14・28系統に乗り、「芸大前」
(約45分)下車、徒歩すぐ
【C5のりば】
市バス73系統に乗り約45分、「国道沓掛口」バス停
下車、徒歩約10分、または「新林池公園」バス停
下車、徒歩約20分

※時刻表、その他交通機関についての詳細情報は、各社のホームページをご確認ください。

申込方法

はがき・FAX・電子メールのいずれかの方法により、以下の項目についてご記入の上、お申込みください。

- ① 郵便番号
- ② 住所
- ③ 氏名
- ④ 電話番号(FAX番号)
- ⑤ 希望する講座

各講座とも、それぞれの開講日の1ヶ月前から受付を開始します。

申込先・問合せ先

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学 事務局連携推進課 (事業推進担当)

TEL 075-334-2204
FAX 075-334-2241
E-mail public@kcua.ac.jp

A

〈全10回〉
定員30名

音楽としての義太夫節

5/11(水)～7/13(水)

期間内の毎水曜日・13:00～14:30

受講料
5,000円

講師 | 山田 智恵子 日本伝統音楽研究センター教授

第1回
ゲスト | 神津 武男 日本伝統音楽研究センター客員研究員
早稲田大学演劇博物館招聘研究員

会場 | 合同研究室1 (新研究棟7階)

人形浄瑠璃文楽の音楽である義太夫節の、ことば(詞章)と旋律の関係にスポットを当てます。七五調のことばのリズムや掛詞、発音などに留意して、義太夫節の音楽表現の豊かさを理解することを目指します。今回は日本版ロミオとジュリエット、『妹背山婦女庭訓』三段目切「山の段」を取り上げる予定です。

- | | |
|--|------------------------|
| ① 5/11 『妹背山婦女庭訓』の成立・上演史 (ゲスト講師: 神津 武男) | ⑥ 6/15 「山の段」の音読と音楽 その3 |
| ② 5/18 義太夫節の音楽構造と三味線の実際 | ⑦ 6/22 「山の段」の音読と音楽 その4 |
| ③ 5/25 三段目のあらすじ及び風(音楽様式)の口伝 | ⑧ 6/29 「山の段」の音読と音楽 その5 |
| ④ 6/1 「山の段」の音読と音楽 その1 | ⑨ 7/6 文楽「山の段」(映像)その1 |
| ⑤ 6/8 「山の段」の音読と音楽 その2 | ⑩ 7/13 文楽「山の段」(映像)その2 |

B

〈全10回〉
定員30名

能の囃子・音曲の骨組みを理解する

5/11(水)～7/13(水)

期間内の毎水曜日・10:40～12:10

受講料
5,000円

講師 | 藤田 隆則 日本伝統音楽研究センター教授

会場 | 合同研究室1 (新研究棟7階)

室町時代に成立した能。数時間にもおよぶ力のこもる演技をしっかりと受けとめるためには、謡の内容理解に加え、囃子や音曲の理解も必要です。今回は能一番の小段の流れに焦点をあてて、音曲面の組立ての理解を試みます。能の鑑賞歴・稽古歴は長くても「わかった」という実感が得られないと感じられる方、音楽面への関心がある方、ぜひ受講してください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ① 5/11 役者の登場 | ⑥ 6/15 破:人物による物語の展開(その3) |
| ② 5/18 序:人物の登場(その1) | ⑦ 6/22 破:人物による物語の展開(その4) |
| ③ 5/25 序:人物の登場(その2) | ⑧ 6/29 破:人物による物語の展開(その5) |
| ④ 6/1 破:人物による物語の展開(その1) | ⑨ 7/6 急:物語のはてに働く、舞う |
| ⑤ 6/8 破:人物による物語の展開(その2) | ⑩ 7/13 急:物語の結末と祝言 |

C

〈全10回〉
定員10名

常磐津節実践入門 その3

5/17(火)～9/20(火)

期間内の隔週火曜日・10:40～12:10

受講料
5,000円講師 | 常磐津 若音太夫(竹内 有一)
日本伝統音楽研究センター准教授

常磐津 音花(三味線指導補助)

会場 | 合同研究室1 (新研究棟7階)

京都生まれの初世常磐津文字太夫が創始し江戸歌舞伎で大成させた常磐津節。古典曲「将門」を題材に、作品の構成や特徴、表現技法を考察しながら、浄瑠璃(語り)と三味線、それぞれの演奏体験を深めます。

《注意事項》お一人で浄瑠璃(語り)と三味線をそれぞれ体験していただきます。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 5/17 課題設定とビデオ視聴 | ⑥ 7/26 課題研究(演奏実践) |
| ② 5/31 課題研究(演奏実践) | ⑦ 8/9 課題研究(演奏実践) |
| ③ 6/14 課題研究(演奏実践) | ⑧ 8/23 課題研究(演奏実践) |
| ④ 6/28 課題研究(演奏実践) | ⑨ 9/6 試演会 |
| ⑤ 7/12 課題研究(演奏実践) | ⑩ 9/20 まとめと評価 |

D

〈全2回〉
定員30名

日本の作曲家を聴く

～今年アニバーサリーを迎える作曲家を中心に～

8/9(火)・8/10(水)

両日とも13:00～16:30(途中休憩等を含む)

受講料
2,000円

講師 | 竹内 直

日本伝統音楽研究センター
非常勤講師

ゲスト

大嶋 義実
河合 珠江

京都市立芸術大学音楽学部教授

ピアニスト、京都市立芸術大学
大学院博士後期課程器楽領域
修士、音楽博士会場 | 合同研究室1(新研究棟7階)
および 大学会館ホール

2016年は柴田南雄(1916～1996)、武満徹(1930～1996)の没後20年、松平頼則(1907～2001)の没後15年に当たります。

本講座では、とくに松平頼則に焦点を当て、講義と実演を通して、その音楽と日本の伝統音楽との関わりを考察します。

E

〈全3回〉
定員30名PENDULUM II
英語による日本音楽概論

8/16(火)～8/18(木)

各日とも10:00～17:00(昼休憩を含む)

受講料
5,000円

講師 | 時田 アリソン 日本伝統音楽研究センター所長

会場 | 合同研究室1 (新研究棟7階)

古くから現在まで伝承されている日本の音楽とその近代的発展を、英語による講義で紹介いたします。英語で日本音楽をどう説明すればよいか、日本人と留学生と一緒に考えながら、手軽に日本の音楽文化について大まかな理解を得ることを目指します。

雅楽・声明・そして語りの音楽(平家・浄瑠璃)と演劇(能・文楽・歌舞伎)との関係や、器楽(三味線・箏・尺八)について講義に加え、体験的なワークショップを行います。